

問いかけることで、人は考える



講師:浦山 絵里さん(うら凜)

ナースファシリテーター

昨年に引き続き、ファシリテーション研修(Facilitate:「促進する」「容易にする」の名詞形)を、5月30.31日に1回目、6月20.21日に2回目が、看護部の主催により開催されました。人々が集い、課題や問題について自分たちで話したり考えたりして、解決策ややる気を自ら生み出す手法を学ぶため、看護師だけでなく、様々な職種の病院職員や近隣施設のスタッフを含めた40名以上が参加しました。

今回は、テーブルの天板のような円形のダンボールを、参加者が膝の上に乗せて支え合いながら使うコミュニケーションツール「えんたくん」を使用して、多様な視点も持った職員が集まり、現場を良くしたいという思いを語り合いました。台を支えるためには、膝が触れ合うぐらいに近づく必要があり、自然と距離が近づきます。そんな状況で、限られた時間の中、皆が話せるよう簡潔に話し、キーワードなどを皆に見えるように書き出して、それに対して問いかけをしていくうちに、新しく気付いたり、自分自身の考えを整理する事が出来ました。

自分が前に出て頑張るのではなく、むしろ一歩引いて皆が話し合ったり考えたりする場を創り、皆の知恵や力を引き出して、相互作用の中でより良い職場を目指せたら素晴らしいと思いました。